

議案提案権を積極的に活用 提案の多くが実現してきました

乳幼児医療費助成条例
(3歳未満から就学前まで医療費無
料を拡大)・94年第4回定例区議会

その結果⇒
就学前まで無料を拡大。
96年4月から。

子ども医療費助成条例
(小学6年生までの医療費を無料
に・04年1月)

その結果⇒
区が小学6年生までの入院医療費
無料化を実施。・04年4月から

その後 党区議団が予算要望で中
学3年生まで医療費無料化を要求。

その結果⇒
区が中学3年生までの入院・通院・
食事代の完全無料化を実施。
・06年4月実施。

出産祝い金条例
(出産に際し10万円の祝い金を
支給・05年第4回定例区議会)

その結果⇒
区が出産費用の50万円を上限とし
て、保険から出る費用の差額を助
成。・06年4月実施。

卒業アルバム助成条例(小中
学校の卒業アルバム作製費用、
一人1万円を助成・05年第2
回定例区議会)

⇒その結果
区が、卒業アルバム作成費の一部助成、
社会科見学(演劇教室・美術館)入館料、
移動教室、夏季学園のそれぞれの一部経
費負担。補助教材費購入、漢字・英語・
数学検定支援。06年4月実施。

大規模災害被災地の支援に関する条例(被災自治体から
の要請がなくても区が体制をとり必要な具体的支援実施。
区民のボランティア制度。必要な防災器材の貸し出し)
04年第4回定例区議会で条例案を準備。全会派によびかけ。

⇒その結果
区が同様の条例を提出。
05年4月実施。

重度要介護高齢者手当条例(都が廃止した「寝たきり
手当」の復活・要介護度4・5の在宅者に月額1万円
支給)・05年第2回定例区議会

その結果⇒
保健福祉常任委員会で現在審議
中。審議の中で区として、対象
となる方に対してアンケートを
とることになっている。

2人目から保育園保育料を無料にする条例(子育て世代への支援策の
一つとして、保育園に2人以上子どもを預けている場合、2人からの保育
料を無料にする。・06年第1回定例区議会に提出)

その結果⇒
保健福祉常任委員会に付託され、
これから論議される。

6名の党区議団 06年度一般会計予算の修正案を提出

* 全介護保険在宅サービスを利用者負担3%に軽減	...	必要予算	約10,500万円
* 重度要介護高齢者手当(介護度4・5の人に月1万円支給。対象者 958人)	...	必要予算	約14,900万円
* 小学校入学支度金を支給(2万円。対象1,194人)	...	必要予算	約2,300万円
* 中学校入学支度金を支給(3万円。対象1,048人)	...	必要予算	約3,100万円
* 修学旅行への助成(2万円。対象963人)	...	必要予算	約5,000万円

青山桜今年も満開

開発に伴う伐採の危機から、みなさんの運動で守った「青山桜」、青山中学校で4年目を迎えた今年も満開。きれいな花を咲かせました。



裏面もご覧ください。

共産党議員団六名が、他会派からの質問に答弁で答えました。与党派の中には「教育にも受益者負担が必要だ」などの暴言を吐く議員(民主・七戸議員)もいました。各党派の態度表明(要旨)

自民党議員団(杉原議員)単なるバラマキといった印象をぬぐえず…。むしろ実効性の見地からは実施すべきではないと考えます。公明党議員団(林田議員)現金給付の政策的な効果、財政費用のありかたについて幅広く議論が必要と考えます。現時点では反対。

民主党(清水議員)修正案には反対。

オンプズマンなどと、一票の会(秋元議員)今回は残念ながら反対。みなと区民クラブ(渡辺議員)修正案には反対。

みなとかがやき(湯原議員)個人給付というのはお金に宛先が書いてないから慎重にすべき、という立場から反対。

ネットワーカーみなと社民(阿部議員)もう少し慎重に調査・研究する必要があるので、現時点では賛成はできません。

仲間へ勇気の会(なかまえ議員)所得制限の問題ですとか、まだまだ検討すべき問題があると思いますので、現時点では反対。

なんでも相談会

毎月第3月曜日、午後6時30分より 青山福祉会館 2階講習室Aを予定
事前にご連絡いただくと幸いです。 連絡先...風見宅 3400-5015 控室 3578-2945

風見利男(日本共産党 港区議会議員) 区政とあなたを結び 125

Email kazami@jcp-minatokugidan.gr.jp
HP http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp/

政治革新の道しるべ 真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗
日刊 月2,900円
日曜版 月800円

青山・西麻布地域・港南に

「ちいばす」の早期運行を

二〇〇五年第二回定例会に、「青山・西麻布など交通不便地域にコミュニティバスの早期運行を求める請願」が、全会一致で採択され、今定例会では、「港南地域に「ちいばす」の運行を求める請願」が提出され、全会一致で採択されました。

「ちいばす」の無料乗車券の支給を

70歳以上の希望者、特殊疾病医療費対象者に

昨年港区が行った第二十五回区民世論調査で、「コミュニティバスの運行路線を拡張した方がよい」と答えた方は、全体で四九・九%。赤坂支所管内は「ちいばす」が走っていますが、「路線を拡張した方がよい」



ちいばす (田町駅バス停)

かにしました。

五・八%です。風見区議は、世論調査の結果を紹介し、「青山・西麻布地域、港南地域での新路線は待ったなしの課題。早急に、新しい路線の検討

にはいるべき」と、質問しました。担当課長は「港区全域について、既存ルートの充実や、民間の自主運行等の新たな視点から、できるだけ速やかに検討していく」と答弁しました。

大企業の道路占用料

引上げで2億円の増収

党区議団の20年にわたる提案が実る

今議会に、道路占用料の改正が提案されました。電柱一本当たり七、一四〇円が八、二一〇円に引き上げるものです。これによって〇六年度は、二億円の増収になります。NTTや東京電力などの大企業が、営業のための資器材として、区道や公園に電柱、電柱などを建てています。その際に区に許可とともに占用料を支払うことになってい

ます。風見区議と党区議団は大企業が占有することで得る利益にふさわしい占用料にするよう提案し続けてきました。それに対して、長年二十三区統一料金でやってきたので、「港区独自の料金は難しい」との答弁を繰り返してきました。党区議団は、電柱にはよく広告看板がついていますが、東電などの下請

け広告会社が看板の設置料一万円以上をとっていること。港区の電柱は、電柱などから得る利益は、周辺区と比べても格段のものがあつたこと。高い固定資産税で区民が苦しんでいるのに、大企業には大判振るまいはおかしいことなどを指摘し、港区独自の道路占用料に改正しよう提案してきたものです。港区独自の改正に踏み出したことは評価できますが、第一歩にすぎません。一日も早く港区にふさわしい道路・公園占用料に引き上げるよう提案しました。理事者は「来年度も改訂していきたい旨」答えました。

赤坂氷川神社 山車 復活に支援を

党区議団は予算総括質問で、赤坂氷川神社山車の復活へのとりくみ支援を、と質問しました。赤坂氷川神社の祭礼は、御用祭のひとつとして、江戸時代より盛大に催されたとされています。その祭礼に欠かせないのが「氷川山車」です。江戸時代に製作され、明治・大正時代に修繕され巡行していた「氷川山車」は、その後、神社裏の山車庫に眠ったままで、その存在も忘れられておりました。最近になって、九台とまつて残っていることが判明しました。これは、昭和六十二年三月に発表された教育委員会の「赤坂氷川神社御用祭と氷川山車」という文化財調査報告書の「刊行にあたって」の文章の一部です。赤坂の人たちによる「赤坂氷川山車委員会」の立ち上げの準備会が行われています。現存する氷川山車九台の内使用できるものは三台で、残る



赤坂氷川山車の展示

六台は大きかりな修復が必要なることもわかっています。氷川神社の祭が復活して「氷川山車」が赤坂のまちを練り歩くようになれば、すばらしいことです。港区の新しい名物、観光資源にもなります。教育委員会は、地元の意向もよく聞き、「復活にむけての運動に大きな支援を」、区長部局も、「赤坂の発展のために支援を」行うよう求めました。

